

「よこかんみなみ」は横浜環状南線の現在の進捗状況などを沿線の皆さまにお知らせするものです。

よこかんみなみ

Vol.3

横浜環状南線は今！

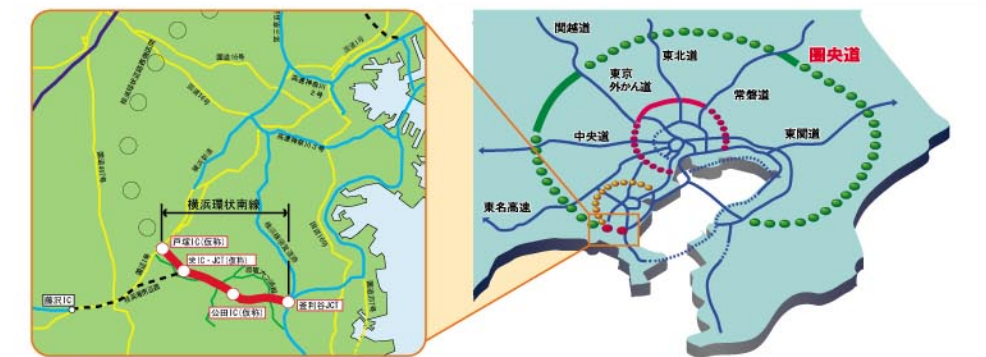
平成16年 10月・12月 **「環境現況調査の結果(中間報告)」**
 横浜環状南線の供用前の現状の大気及び騒音状況を把握する目的で環境現況調査(秋季・冬季)を行いましたので、その結果についてお知らせします。
 詳しくは中面右上をご覧ください



平成17年 3月 **「環境影響の照査結果」**
 横浜環状南線の事業における周辺環境の適切な保全を図るため、事業の実施に伴い周辺に与える環境影響の主要な項目について、現時点での最新のデータと予測手法を用いて「環境影響の照査」を行い発表いたしました。その結果についてお知らせします。
 詳しくは中面下をご覧ください



平成17年 3月 **「事業再評価の結果と今後の進め方」**
 都市計画決定後10年が経過するため事業の再評価が行われました。その結果と今後の事業の進め方についてお知らせします。
 詳しくは中面左上をご覧ください



4 横浜環状南線の進捗状況
 現在の用地取得及び工事の状況についてお知らせします。
 詳しくは裏面をご覧ください

「横浜環状南線(以下、横浜環状南線)」は首都圏中央連絡自動車道(以下、圏央道)及び横浜環状道路の一部であり、横浜都心から概ね半径10、15kmの位置に計画され、圏央道の役割に加え、横浜市内の交通の利便性の向上、交通渋滞の緩和、地域拠点間の連絡強化や周辺地域の活性化を促すこと等を目的とした自動車専用道路です。
 今回の「よこかんみなみ」では、環境現況調査の結果(中間報告)、環境影響の照査結果、事業再評価の結果と今後の進め方、横浜環状南線の進捗状況についてお知らせします。

4 INFORMATION

横浜環状南線の進捗状況

横浜環状南線の事業に必要な用地は、多くの方々の協力を頂き現在全体必要面積の約4割の取得率となっています。
 また、工事については釜利谷ジャンクション及び鎌倉市岩瀬において一部着手しています。



▲ 公田地区の用地取得状況



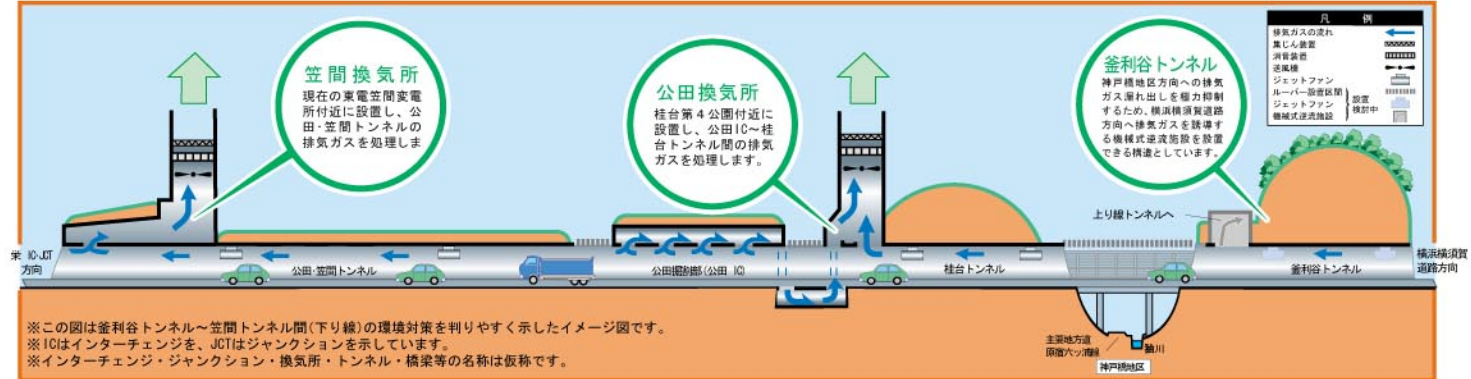
▲ 飯島地区の用地取得状況



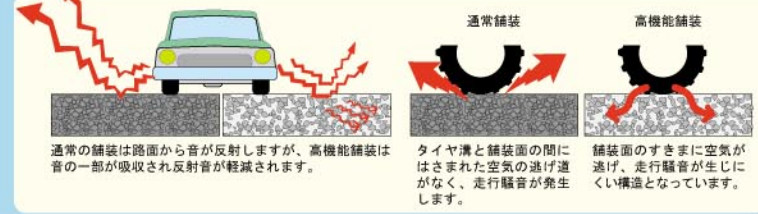
▲ 釜利谷ジャンクションの工事状況

横浜環状南線は環境に配慮した道路を目指しています。

横浜環状南線では、トンネル内で発生した排出ガスを集約して処理するために、2箇所の換気所において、集塵効率の高い装置の採用の検討など、大気汚染対策について検討しています。



横浜環状南線からの交通騒音等を緩和するため、遮音壁や環境施設帯を効果的に設置していきます。また、高機能舗装も積極的に採用していきます。



横浜環状南線周辺の公園情報

横環 Check!
 ウイトリッヒの森 心休まる都会のオアシス

この森は、スイス人技師の故アーノルド・ウイトリッヒさんが、故郷の風景に似ていたこの森を生前よく愛し、大切に育ててきたものです。約3haの敷地には多くの樹木や果樹、花木が植えられ、下草には貴重な植物が見られます。また、谷沿いの流れには横浜に少なくなったゲンジボタルも生息しています。
 園内にはあずまやもあるのでゆっくり休ませ、住宅地の中にあつて信じられないくらい落ち着いた森の散策を楽しめます。一度は訪れたい森ですね。

住所: 神奈川県横浜市戸塚区栗野町2-1
 電話: 045-831-8484
 横浜市環境創造局南部公園緑地事務所
 入園料: 無料
 休園日: なし(日の出～日没まで)
 アクセス: 京東海道線戸塚駅西口より神奈川県中央バス 戸塚バスセンター→52系統15分、 国立横浜病院前下車徒歩10分
 駐車場: なし

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 調査第一課 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2 TEL. 045-316-3536 URL: http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/	日本道路公社 東京建設局 横浜工務事務所 工務課 〒241-0833 横浜市旭区南本宿町21-1 TEL. 045-352-3771 URL: http://www.jhnet.go.jp/tokyo/yokohama/	横浜市 道路局横浜環状道路調整部 事業調整課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL. 045-671-2780 URL: http://www.city.yokohama.jp/ne/douro/index.html
--	--	---

1 環境現況調査の結果 (中間報告)

横環南の供用前の現状の大気及び騒音状況を確認する目的で、大気及び騒音の環境現況調査を行いました。調査は下の図に示している箇所において、平成16年10月に、大気及び騒音(秋季調査)、12月に大気のみ測定(冬季調査)を実施しました。引き続き、平成17年の春季、夏季に調査を予定しています。これらの結果についてもまたり次第お知らせします。

なお、調査結果の詳細につきましては、国土交通省横浜国道事務所及び、JH横浜工務事務所のホームページにて掲載していますので、ご参照ください。(アドレスは裏面下を参照してください)



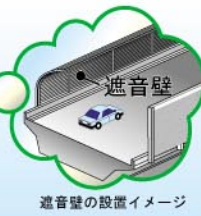
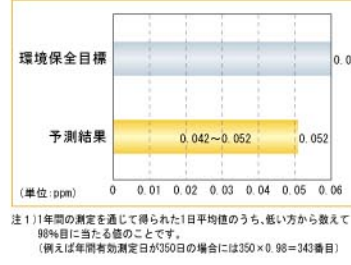
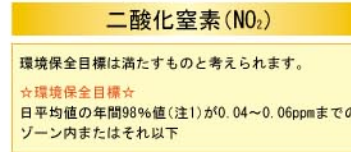
▲騒音測定の様子 ▲大気測定の様子

2 環境影響の照査結果

平成7年の都市計画決定の際、県の条例等に基づき環境影響評価を実施していますが、その後、環境影響評価法の制定や、新たな予測の標準手法が示されています。こうした状況から横環南の事業における周辺環境の適切な保全を図るため、現時点での最新のデータと予測手法を用いて、「環境影響の照査」を行いました。その結果、今回照査した範囲においては、それぞれ環境保全目標を満たしているものと考えられます。

今後とも、新たな技術の進展やデータの蓄積を踏まえ、環境影響の調査検討を実施し、周辺環境の適切な保全に努めます。

なお、照査結果の詳細につきましては、国土交通省横浜国道事務所及び、JH横浜工務事務所のホームページにて掲載していますので、ご参照ください。(アドレスは裏面下を参照してください)



騒音測定結果(単位: dB)

10月14日~10月15日

栄区上郷町	公田インターチェンジ		栄区笠間町		栄インター・ジャンクション	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
53	50	51	45	50	47	65
59	55	52	47	52	49	59

栄区田谷町	戸塚区小雀町		戸塚インターチェンジ1		戸塚インターチェンジ2	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
48	45	50	50	50	47	71
45	42	48	48	48	45	71

※測定時間は5時~翌6時です

大気調査結果[NO₂(ppm)、SPM(mg/m³)]

	栄区上郷町		公田インターチェンジ		栄区笠間町		栄インター・ジャンクション	
	NO ₂	SPM	NO ₂	SPM	NO ₂	SPM	NO ₂	SPM
秋季調査結果	0.028	0.033	0.027	0.032	0.029	0.033	0.039	0.037
冬季調査結果	0.028	0.029	0.027	0.030	0.030	0.033	0.036	0.043

	栄区田谷町		戸塚区小雀町		戸塚インターチェンジ1		戸塚インターチェンジ2	
	NO ₂	SPM	NO ₂	SPM	NO ₂	SPM	NO ₂	SPM
秋季調査結果	0.028	0.038	0.031	0.036	0.034	0.037	0.045	0.036
冬季調査結果	0.035	0.038	0.035	0.038	0.033	0.037	0.051	0.038

【参考】

	常時監視局			
	(犬山小学校)		(汲沢小学校)	
	NO ₂	SPM	NO ₂	SPM
秋季調査結果	0.029	0.031	0.030	0.031
冬季調査結果	0.031	0.028	0.035	0.033

横環南完成予想図



3 事業再評価の結果と今後の進め方

事業再評価が行われました

横環南は、平成7年4月に都市計画決定がなされて10年が経過することから、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき、事業再評価が平成17年3月に行われました。

事業の再評価とは、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るために行われます。

重しながら、事業の対応方針(継続・見直し・中止)を決定します。事業再評価の結果、事業の必要性が認められ、「環境保全対策」と住民の方々の「合意形成」についての付帯意見が付されて事業は継続とされました。

なお、事業再評価の詳細につきましては、国土交通省関東地方整備局のホームページにて掲載していますので、ご参照ください。
(アドレスは左記を参照してください)
<http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/road/ir/index.htm>



▲事業評価監視委員会の実施状況

三者から構成される事業評価監視委員会を設置し、意見を聴き、その意見を尊重します。

現在、住民の方々とコミュニケーションを更なるため、これまでの広報誌やホームページに加え、常設の相談窓口を早期に設置できるよう、関係機関と調整しているところです。詳細が決まり次第あらためてお知らせします。



▲常設相談窓口のイメージ

植栽無し案



植栽有り案

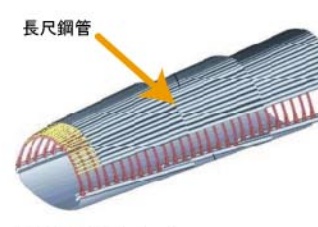


よう壁前面の植栽イメージ

周辺景観との調和
道路と周辺景観との調和を図るため、外部景観及び内部景観について検討しています。



▲ヒメウキガヤ(神奈川県絶滅危惧種)の代替池への移植実験状況



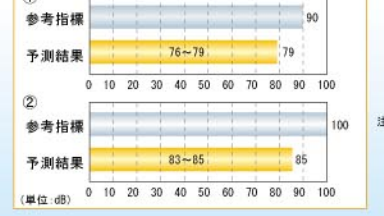
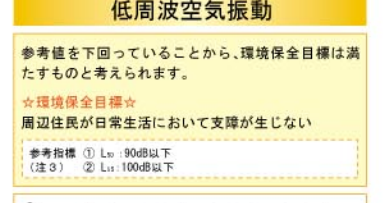
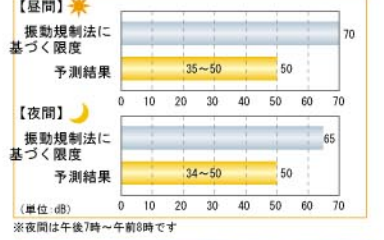
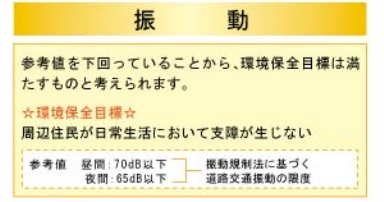
「長尺鋼管先受け工法」トンネル掘削前にトンネル前方の外周に沿って、10~15m程度の長尺鋼管をアンブレラ(傘)状に配置し、切羽の安定や地表面の沈下を抑制します。

沈下対策に効果的な補助工法の一例

自然環境の保全
蓋利谷地区における自然環境の保全及び管理について検討しています。また、猛禽類について、生息に関する調査及び横環南の本格的な工事に向けた基本的な対応方針等について検討しています。

地盤沈下対策
丘陵部に位置し、造成された住宅地を通過する大断面がねトンネルの施工に際し、切羽(掘削面)の安定、地表面沈下抑制といった周辺への影響について検討しています。

また、環境影響の照査項目以外にも、適切な環境保全を目指し、専門家を交えながら各種の調査・検討を継続して実施しています。



注3)低周波空気振動における参考指標
①一般環境中に存在する騒音レベル
1~80Hzの50%時間率音圧レベルで90dB(このレベルでは人体に及ぼす影響を証明し得るデータは得られていない)
②ISO7196に規定されたG特性5%時間率音圧レベルで100dB(平均的な聴感1~20HzのG特性5%時間率音圧レベルで100dB(平均的な聴感